

端末利用者が施す措置について、機種ごとに記載します。
(op)は、(op)の条件の下で端末を利用する場合に、影響等を十分考慮したうえで取り得る措置の一つを記述しています。

番号	項目	A 機械・館内放送設備等の自動制御 B オペレーターを介した機械・館内放送設備等の制御			C 端末の報知による人の危険回避		どのような手段で実現しているかの説明
		機械等の制御	館内放送		警報相当の強い揺れの予想のみ報知	その他の緊急地震速報(案)の報知	
			不特定多数向けの警報に整合した業務放送	その他			
1	気象庁が緊急地震速報(予報)リアルタイム震度電文を発表してから端末が報知または制御を開始するまでに要する時間	1秒以内	1秒以内	1秒以内	1秒以内	1秒以内	配信設備で緊急地震速報を受信してから、端末への配信処理が完了するまで、概ね5ミリ秒程度*1です。 緊急地震速報受信後の報知または制御を開始するまでの時間は、端末および関連する機器(放送設備等)動作によります。 *1 2011年4月の実測値。但し、端末側回線の種類や通信状況により変動します。
2	気象庁から端末まで、配信を途切れさせないような対策	十分とられているもの	十分とられているもの	十分とられているもの	十分とられているもの	十分とられているもの	配信設備では気象庁向け回線および受信端末向けインターネット回線の冗長化、配信サーバー等の冗長化を実施しています。
3	時刻合わせ	±1秒以内	±1秒以内	±1秒以内	±1秒以内	±1秒以内	配信設備側はNTPにて時刻合わせを行っています。 端末の時刻合わせは、端末仕様または設定によります。
4	配信・許可事業者によるサポート	充実しているもの	充実しているもの	充実しているもの	充実しているもの	充実しているもの	連絡窓口となる販売店と連携しサポートを行います。 緊急時に備え、24時間365日有人受付の電話受付窓口を準備しています。
5	耐震固定等地震の揺れへの対策	推奨	推奨	推奨	推奨	推奨	配信設備は高い耐震性を有するデータセンター*1に設置しており、強い地震動を受けても継続して緊急地震速報を配信することが可能です。 *1世界規模のリスクマネジメント会社による地震リスク分析において、PML最高ランクを取得しています。
6	無停電化	推奨	推奨	推奨	推奨	推奨	配信設備は高信頼の電源を有するデータセンター*1に設置しており、停電時にも継続して緊急地震速報を配信することが可能です。 *1 電源系統の多重化、UPS・EG(自家発電機設備)により電力を安定的に供給しています。
7	端末の冗長化	推奨	推奨	推奨	オプション	オプション	複数端末へ緊急地震速報を配信することが可能です。
8	回線 常時接続できる回線 専用線等信頼性の高い回線	必須 推奨	必須 推奨	必須 推奨	必須 オプション	必須 オプション	常時接続可能なインターネット回線が必要となります。 専用線やIP-VPN等の信頼性の高い回線の利用については、別途ご相談となります。
9	サーバー・端末間の物理回線の冗長化	推奨	推奨	推奨	オプション	オプション	複数回線へ緊急地震速報を配信することが可能です。 (配信設備側の回線冗長化については、「気象庁から端末まで、配信をとぎれさせないような対策」を参照願います。)
10	予想した猶予時間	猶予時間がない場合でも利用 高層ビル等において長周期地震動階級等の予報やこれを用いた構造物の詳細な揺れの予報に基づく場合は、猶予時間を過ぎてもしばらくの間は制御を継続	猶予時間がない場合でも利用 猶予時間+10秒程度は安全確保を促す放送を継続 高層ビル等において長周期地震動階級等の予報やこれを用いた構造物の詳細な揺れの予報に基づく場合は、猶予時間を過ぎてもしばらくの間は放送を継続	猶予時間がない場合でも利用 猶予時間+10秒程度は安全確保を促す放送を継続 高層ビル等において長周期地震動階級等の予報やこれを用いた構造物の詳細な揺れの予報に基づく場合は、猶予時間を過ぎてもしばらくの間は放送を継続	猶予時間がない場合でも利用 猶予時間+10秒程度は安全確保を促す報知を継続 高層ビル等において長周期地震動階級等の予報やこれを用いた構造物の詳細な揺れの予報に基づく場合は、猶予時間を過ぎてもしばらくの間は報知を継続	猶予時間がない場合でも利用 猶予時間+10秒程度は安全確保を促す報知を継続 高層ビル等において長周期地震動階級等の予報やこれを用いた構造物の詳細な揺れの予報に基づく場合は、猶予時間を過ぎてもしばらくの間は報知を継続	猶予時間に関係なく緊急地震速報を配信します。 猶予時間に対応した端末動作は端末仕様または設定によります。
11	予想した震度、長周期地震動階級等や構造物の詳細な揺れの大きさ	制御先の強度等に応じた設定震度、設定長周期地震動階級等や構造物の詳細な揺れの大きさの設定値を超えた時に制御を行う	震度の予報に基づく場合は、警報に整合 長周期地震動階級等の予報やこれを用いた構造物の詳細な揺れの予報に基づく場合で、高層ビル等においては、長周期地震動階級3以上に相当する大きな揺れが予想される場合に放送を行う	施設の安全性による設定震度、設定長周期地震動階級等や構造物の詳細な揺れの大きさの設定値を超えた時に放送を行う	震度の予報に基づく場合は、警報に整合 長周期地震動階級等の予報やこれを用いた構造物の詳細な揺れの予報に基づく場合で、高層ビル等においては、長周期地震動階級3以上に相当する大きな揺れが予想される場合に報知を行う	端末利用者の必要性に応じた設定震度、設定長周期地震動階級等や構造物の詳細な揺れの大きさの設定値を超えた時に報知を行う	利用者専用ウェブ画面にて配信を行う震度閾値を自由に設定することが可能です。長周期階級は登録時または販売店を通して依頼することで任意の値に設定可能です。 震度や長周期階級に対応した端末動作は端末仕様または設定によります。
12	精度情報(凡例) 100ガル:100ガル超え緊急地震速報 1点:1観測点に基づく緊急地震速報(業) 複数点:複数観測点のデータに基づく緊急地震速報(案)	複数点を利用(op)100ガル、1点等は制御の準備に利用(op)迅速な制御を行う際には、100ガル、1点も利用	震度の予報に基づく場合は、警報に整合 長周期地震動階級等の予報やこれを用いた構造物の詳細な揺れの予報に基づく場合は、複数点を利用 100ガル、1点等は放送の準備に利用	複数点を利用 100ガル、1点等は放送の準備に利用	震度の予報に基づく場合は、警報に整合 長周期地震動階級等の予報やこれを用いた構造物の詳細な揺れの予報に基づく場合は、複数点を利用	複数点を利用	100ガル:配信しません。 1点:配信します。*1(配信しない設定が可能です。) 複数点:配信します。*1 *1: 但し、予想震度が予め設定された閾値を超えた場合。
13	深発地震についての緊急地震速報(案)	震度の予想の方法がPLUM法に基づく場合は制御に利用(op)震度の予報に基づく場合で、東日本太平洋側では利用長周期地震動階級等の予報やこれを用いた構造物の詳細な揺れの予報に基づく場合、震源の深さが150km以浅の場合に限り制御を行う	震度の予報に基づく場合は警報に整合 長周期地震動階級等の予報やこれを用いた構造物の詳細な揺れの予報に基づく場合、震源の深さが150km以浅の場合に限り放送を行う	震度の予想の方法がPLUM法に基づく場合は放送に利用(op)震度の予報に基づく場合で、東日本太平洋側では利用長周期地震動階級等の予報やこれを用いた構造物の詳細な揺れの予報に基づく場合、震源の深さが150km以浅の場合に限り放送を行う	震度の予報に基づく場合は、警報に整合 長周期地震動階級等の予報やこれを用いた構造物の詳細な揺れの予報に基づく場合、震源の深さが150km以浅の場合に限り報知を行う	震度の予想の方法がPLUM法に基づく場合は報知に利用(op)震度の予報に基づく場合で、東日本太平洋側では利用長周期地震動階級等の予報やこれを用いた構造物の詳細な揺れの予報に基づく場合、震源の深さが150km以浅の場合に限り報知を行う	震源の深さが150kmを超える場合、配信しません。

番号	項目	A 機械・館内放送設備等の自動制御 B オペレーターを介した機械・館内放送設備等の制御			C 端末の報知による人の危険回避		どのような手段で実現しているかの説明
		機械等の制御	館内放送		警報相当の強い揺れの予想のみ報知	その他の緊急地震速報(案)の報知	
			不特定多数向けの警報に整合した業務放送	その他			
14	放送・報知内容		緊急地震速報(警報)に整合している場合は、NHKチャイム音の後に「地震です。落ち着いて身を守ってください。」を利用 そうでない場合は、NHKチャイム音以外の音源を利用 放送した後は、実際の震度を放送 長周期地震動階級等の予報やこれをを用いた構造物の詳細な揺れの予報に基づく場合で、高層ビル・免振建物・長大構造物等の長周期地震動の影響を受けやすい場所においては、到達予想時刻を過ぎてから高層ビル等が共振し大きく揺れ始めるケースがあることを念頭に、到達予想時刻後もしばらくの間は揺れへの警戒を継続してもらうよう放送を継続することを推奨 (op)構造物の詳細な揺れの予報を行う場合は、予報が地震動でないことについて十分な説明を行っている前提(一般向け予報においては、十分な説明を行うよう努めた前提)で、階層等を特定して強い揺れが来ることを放送 (op)騒音等で放送が聞き取りにくい条件下では、認識しやすい内容で放送	緊急地震速報(警報)に整合している場合は、NHKチャイム音の後に「地震です。落ち着いて身を守ってください。」を利用 そうでない場合は、NHKチャイム音以外の音源を利用 具体的な予想震度や長周期地震動階級・周期別階級、構造物の詳細な揺れの大きさ、猶予時間は報知しない 長周期地震動階級等の予報やこれをを用いた構造物の詳細な揺れの予報に基づく場合で、高層ビル・免振建物・長大構造物等の長周期地震動の影響を受けやすい場所においては、到達予想時刻を過ぎてから高層ビル等が共振し大きく揺れ始めるケースがあることを念頭に、到達予想時刻後もしばらくの間は揺れへの警戒を継続してもらうよう報知を継続することを推奨 (op)構造物の詳細な揺れの予報を行う場合は、予報が地震動でないことについて十分な説明を行っている前提(一般向け予報においては、十分な説明を行うよう努めた前提)で、階層等を特定して強い揺れが来ることを報知	緊急地震速報(警報)に整合している場合は、NHKチャイム音を推奨 そうでない場合は、NHKチャイム音以外の音源を利用 具体的な予想震度や長周期地震動階級等、構造物の詳細な揺れの大きさ、猶予時間は報知しない 長周期地震動階級等の予報やこれを用いた構造物の詳細な揺れの予報に基づく場合で、高層ビル等が共振し大きく揺れ始めるケースがあることを念頭に、到達予想時刻後もしばらくの間は揺れへの警戒を継続してもらうよう報知を継続することを推奨 (op)誤差について理解していれば、具体的な予想震度や予想長周期地震動階級等、構造物の詳細な揺れの大きさ、猶予時間を報知。ただし、震度の予想がPLUM法に基づく場合には具体的な猶予時間は報知しない 報知する場合には、「まもなく到達」等の表現を用いる (op)構造物の詳細な揺れの予報を行う場合は、予報が地震動でないことについて十分な説明を行うよう努めた前提で、階層等を特定して強い揺れが来ることを報知	端末仕様または設定によります。	
15	緊急地震速報(案)で制御、放送、報知を行った後に同一地震または別の地震について提供される緊急地震速報(案)	予想した震度、長周期地震動階級等、構造物の詳細な揺れの大きさによって異なる制御内容があり、制御開始後であっても制御内容の変更が許される制御対象の場合で、かつ、予想した値が大きくなる場合には制御内容を変更 一方、予想した値が小さくなる場合には十分な留意が必要 新たに大きな長周期地震動階級等や構造物の詳細な揺れの大きさが予想された場合は到達予想時刻後もしばらくの間は制御を継続するなどの配慮が必要 震度等の違いによって制御の内容を変えていない場合や制御開始後は制御内容の変更が許されない制御対象の場合では用いない 高層ビル・免振建物・長大構造物等においては、長周期地震動の場合にしばらく制御を継続する必要があることを考慮して、あらかじめ制御時間等を検討しておく必要がある	放送内容は変更しない	予想した震度、長周期地震動階級等、構造物の詳細な揺れの大きさによって放送を変えており、在館者等が放送の変更に対応が可能な場合で、かつ、放送後の予想した値が大きくなる場合には新たに予想した値に応じた内容を放送一方、予想した値が小さくなる場合の変更には十分な留意が必要 新たに大きな長周期地震動階級等や構造物の詳細な揺れの大きさが予想された場合は到達予想時刻後もしばらくの間は制御を継続するなどの配慮が必要 震度等の違いによって放送の内容を変えていない場合や在館者等が放送の変更に対応できない場合では用いない	報知内容は変更しない	予想した震度や長周期地震動階級等、構造物の詳細な揺れの大きさまたは猶予時間を報知している場合は予想した値が大きくなる場合または猶予時間が短くなる場合に報知内容を変更 新たに大きな長周期地震動階級等や構造物の詳細な揺れの大きさが予想された場合は到達予想時刻後もしばらくの間は報知を継続するなどの配慮が必要	端末仕様または設定によります。
16	キャンセル報	制御やその準備に利用された緊急地震速報に対して提供された場合は解除や解除の判断に利用	放送やその準備に利用された緊急地震速報に対して提供された場合は解除や解除の判断に利用	放送やその準備に利用された緊急地震速報に対して提供された場合は解除や解除の判断に利用	報知した緊急地震速報に対して提供された場合は報知	報知した緊急地震速報に対して提供された場合は報知	配信設備はキャンセル報を配信します。 キャンセル報受信時の端末動作は端末仕様または設定によります。
17	試験	テスト報を受けて行う試験を実施 普段はテスト報により動作や制御をしない設定とすること	テスト報を受けて行う試験を実施 普段はテスト報により動作や放送をしない設定とすること	テスト報を受けて行う試験を実施 普段はテスト報により動作や放送をしない設定とすること	テスト報を受けて行う試験を実施 普段はテスト報により動作や報知をしない設定とすること	テスト報を受けて行う試験を実施 普段はテスト報により動作や報知をしない設定とすること	配信設備の訓練報をテスト報としてご利用いただけます。 配信設備の訓練報は予約登録が可能です。 ※1 報受信時の端末動作は端末仕様または設定によります。
18	訓練	端末が持つ訓練機能または訓練報を端末が受けて行う訓練を実施 普段は訓練報により動作や制御をしない設定とすること (Bに限る)	端末が持つ訓練機能または訓練報を端末が受けて行う訓練を実施 普段は訓練報により動作や放送をしない設定とすること	端末が持つ訓練機能または訓練報を端末が受けて行う訓練を実施 普段は訓練報により動作や放送をしない設定とすること	端末が持つ訓練機能または訓練報を端末が受けて行う訓練を実施 普段は訓練報により動作や報知をしない設定とすること	端末が持つ訓練機能または訓練報を端末が受けて行う訓練を実施 普段は訓練報により動作や報知をしない設定とすること	以下に示す訓練が利用できます。 ・気象庁による訓練: 希望があれば配信します。*1 ・配信設備による訓練: 訓練報の予約登録が可能です。*1 ・端末機能による訓練: 端末仕様または設定によります。 *1 一部サービスを除きます。
19	配信・許可事業者への連絡	推奨	推奨	推奨	推奨	推奨	アフターサービス等の連絡窓口は、販売店となります。 また、24時間365日有人受付の電話受付窓口も利用いただけます。